

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3001	全日本写真連盟創立100周年記念写真コンテスト	1	社会のデジタル化が進み写真著作権に関するトラブルが問題になっている。本事業は写真愛好家が注目する全国規模の写真コンテストを開催し、その中でアンケート調査、著作権保護の動画セミナー配信、著作権保護の記事を掲載した作品集の作成、表彰式での著作権教室など、著作権の理解と保護につなげていく。また、中高校生部門を設け、若い世代の創造力を育むとともに、将来にむけた著作権への意識付けを行う。	8,525,000	8,525,000	-
	全日本写真連盟					
2025-3003	Illustration Works	2	幅広い世代のイラストレーターが在籍する東京イラストレーターズ・ソサエティ初の仕事展。会員の仕事に焦点を絞り、過去約30年間の表現の変化や社会的役割などイラストレーションの魅力を紹介するとともに、現代のイラストレーションの在り方を問う総括的な展覧会である。	3,000,000	3,000,000	-
	一般社団法人東京イラストレーターズ・ソサエティ					
2025-3004	第15回えひめこども新聞グランプリ	2	県内の小学校、特別支援学校の小学部の全児童を対象とした新聞コンクール。A2サイズの応募台紙に、各児童が自由にテーマを考え、取材し、手書きのオリジナルの新聞を制作する。応募は各学校から市町の教育委員会経由。審査員は小中学校の校長らで構成し、県内3地区の審査、最終審査を経て、グランプリなどの各賞を決定する。入選者の発表は新聞紙上で。全入選児童を招待して表彰式を開催し、入選作品は新聞社HPで公開する。	1,640,000	1,640,000	-
	株式会社愛媛新聞社					
2025-3006	2025年第31回日本管楽合奏コンテスト	2	管打楽器及び吹奏楽の研究・調査・啓発により音楽文化の向上を図り、小・中・高の音楽教育の充実・発展に寄与するとともに、合奏活動を通じて著作権等への理解を深めることを目的に、全国大会では毎年約10,000名の参加を得て実施している。小学生に加え中学生・高校生は編成規模に応じて部門を設け、各部門ごとに最優秀賞・優秀賞を選定し、最高位である最優秀グランプリ賞受賞団体には文部科学大臣賞が授与される。	5,000,000	5,000,000	-
	公益財団法人日本音楽教育文化振興会					
2025-3007	バリアフリー図書普及と活用のための人材育成事業	1、2	本事業では、予算制約のある学校図書館などにバリアフリー図書を無料で貸し出し、展示や研修を通じて司書や一般の人々に理解を促す「読書バリアフリー体験セット」と、読書バリアフリーに関して体系的に学ぶことができる「読書バリアフリーサポーター養成講座」の運営を行う。講座については、全国的なニーズに応じ、現地開催とオンデマンド配信を組み合わせた柔軟な手法で展開する。	8,373,000	8,373,000	-
	公益財団法人文字・活字文化推進機構					
2025-3008	高大連携で取り組む著作権啓発コンテンツ創作プロジェクト	1、2	高校生と大学生のチームによる高大連携プロジェクトとして著作権啓発コンテンツを創作し公開する。大学で学んだ著作権や啓発コンテンツの創作実績について大学生が高校生に伝え、デジタル社会における課題意識について共有した上で学生たちによる自由な啓発コンテンツの企画・創作を行う。さらに産学連携としてコンテンツ業界のアドバイザーを招聘し、業界の現状と課題を正しく理解することで啓発コンテンツの質の向上を目指す。	1,603,000	1,603,000	-
	国立大学法人大分県立芸術文化短期大学					
2025-3013	著作権及び著作隣接権論文の募集・顕彰・論文集発行事業	1	本事業は、1996年から2024年までの間に合計11回実施している国内唯一の著作権に関する懸賞論文である。1年目を募集年、2年目を顕彰・論文集刊行年とし、論文審査は、著作権法に精通する有識者で構成する委員会で行い、入賞者には表彰盾及び学術奨励金を授与する。本事業は、入賞者の中から著作権に関係する研究・教育・法曹・ビジネス等の分野で活躍する研究者、弁護士、実務家等を数多く輩出してきた実績を有する。	9,296,000	1,862,000	7,434,000
	公益社団法人著作権情報センター					
2025-3014	第76回こども県展	2	県内の小・中学生最大の「美の祭典」こども県展。本事業は1950年から開催されており、これまで高知県をはじめ関係団体の共催、後援により、70回を超える歴史を重ねてきた。今後も事業内容の充実に向け、美術、書写教育の振興と向上を図ることを目的としている。実施期間：令和7年11月（作品受付）～令和8年3月8日（展覧会終了）	5,252,000	5,252,000	-
	株式会社高知新聞企業					

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3015	2025年本屋大賞	2	全国の書店員が年に一度「この本は絶対に多くの人に読んで欲しい」と思った本を投票し、本屋大賞として発表。人々の読書活動に寄与し、多くの著作者や著作物を知ってもらうきっかけになることを狙い、幅広く出版業の発展に寄与する。	1,900,000	1,900,000	—
	特定非営利活動法人本屋大賞実行委員会					
2025-3016	アートワーカー・ゼミ『作品から知る世界 (仮)』	2	同時代のアーティストの作品を取り上げ、題材となっている戦争や災害等の社会課題を読み解くレクチャーとディスカッションのゼミ。主にアートワーカーを対象とし、作品を扱う上で必要となる教養やリスクマネジメント力を養い、創作背景にある歴史や思想についてリスクリングの機会を創出。記録を書籍として発行し、芸術領域で活動を希望する学生やアートを理解したいと考えるアートファン等とも知識やノウハウの共有をはかる。	3,275,000	1,575,000	1,700,000
	公益財団法人京都市芸術文化協会					
2025-3018	第41回かながわ音楽コンクール	2	第41回かながわ音楽コンクールは、統合ピアノ部門（コースピアノの部、一般の部）、ヴァイオリン部門、声楽部門の3部門で開催、各部門の上位入賞者は県立音楽堂で行われる「トップコンサートなどの記念演奏会に出場できる。	2,000,000	2,000,000	—
	株式会社神奈川新聞社					
2025-3019	著作権情報センター資料室における蔵書の充実化及び利用者サービスの拡充化事業	1	本事業は、1967年に開設された我が国唯一の著作権法制度に特化した資料室の運営である。資料室は、国内外の著作権法及び知的財産法に関する書籍、定期刊行物、論文、政府関係資料等の収集及びこれら文献の無償による一般公開並びに法令に基づく文献複写サービスを行い、国民における著作権思想の普及啓発、研究者・実務家等の調査研究を支援し、文化の発展に寄与している施設である。	8,951,000	8,951,000	—
	公益社団法人著作権情報センター					
2025-3020	2025年度読書教養講座	2	全国の大学に著名な作家や学者らを招き、創作活動や著作、読書などについて語ってもらう講座。2005年に「21世紀活字文化プロジェクト」の一環としてスタートし、これまでに講師を務めた作家らは延べ100人を超える。パネルディスカッションや参加者との質疑応答も行う。大学と共同で開催しており、学生が単位を取得できる正規授業。一部を除き、参加無料で一般公開している。	2,670,000	2,670,000	—
	株式会社読売新聞東京本社（活字文化推進会議）					
2025-3021	2025年度高校・中学ビブリオバトル全国大会	1, 2	高校は2014年度、中学は2017年度から行われている書評対戦形式のコンテスト「ビブリオバトル」唯一の全国大会。都府県教育委員会などが主催する都道府県大会を勝ち抜くなどした高校生49人、中学生約45人が出場し、それぞれ日本一を競う。作家も登壇し、創作活動、読書体験などについて語る。読書の推進を図ることを目的にしている。大会の様子は無料のニコニコ生放送で配信し、WEBサイトで動画を公開する。	7,425,000	7,425,000	—
	株式会社読売新聞東京本社（活字文化推進会議）					
2025-3022	江戸東京伝統芸能祭(仮称)	2	これまでにない伝統芸能のフェスティバルを東京都と共に立ち上げる。『江戸東京伝統芸能祭(仮称)』。「継承のみにとどまらず新たな創造で未来をつくること」を理念とし、伝統芸能と異ジャンルが融合する創作や、若手育成にも力を注ぐ。室町期からの系譜、明治東京でさらに発展を遂げ、現代に受け継がれている江戸東京のさまざまな伝統芸能を結集。江戸の「粋」、未来への可能性を体感できるフェスティバルを目指す。	25,000,000	25,000,000	—
	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会					
2025-3023	第35回新人シナリオコンクール	2	昭和25年創設の日本最初のシナリオコンクール「新人映画シナリオコンクール」と昭和37年創設の「新人テレビシナリオコンクール」を平成4年に統合し、優秀な新人脚本家の発掘と育成を目的として運営し、数多くのプロ作家を輩出してきた。また映像作品の根幹を成す脚本を執筆する脚本家を発掘・育成することで映像文化全体の発展に寄与し、著作物の振興によって文化芸術の振興や普及を行うことも目的とする。	1,847,000	433,000	1,414,000
	協同組合日本シナリオ作家協会					

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3024	関西知財セミナー	1	大阪工業大学専門職大学院知的財産研究科において、著作権や産業財産権などの様々な分野の講師を招聘して、対面及びオンラインのハイブリット形式で、誰でも参加できる無料のセミナーを開催することにより、知的財産に関する学びの機会を大学関係者、企業関係者、弁護士、弁理士、公務員など広く学外に提供する。	1,078,000	1,078,000	—
	学校法人常翔学園					
2025-3025	図工・美術授業にカメラ	2	全国の小・中学校を対象として、図工・美術授業にカメラを取り入れた実践授業を実施。その成果発表の場として「全国学校図工・美術写真公募展」を開催。児童・生徒が学校の教育活動で造形表現した作品を撮影し、メッセージを添えて応募。入賞・入選作品は当協会のホームページや図録「始めよう、カメラの授業！」に掲載。入賞・入選者に賞状を授与。学校の先生向けに年に2回の研修を実施し、写真とカメラの知識を習得してもらう。	4,870,000	4,870,000	—
	公益社団法人日本広告写真家協会					
2025-3026	第6回情報活用授業コンクール	1、2	学校教育における資料・情報の活用の重要性を伝え、デジタル資料も印刷資料も利用した授業実践を普及するために、授業実践記録を司書教諭や学校司書、教員等から募集して顕彰するコンクールを開催している。表彰式での優秀校の実践発表や、「学校図書館セミナー」への実践発表の動画の提供、全国学校図書館協議会の機関誌『学校図書館』への実践記録の掲載、その他多くの機会をとらえて、情報の発信・共有に努めている。	1,837,000	209,000	1,628,000
	公益社団法人全国学校図書館協議会					
2025-3028	第5回小学生がえらぶ!“こどもの本”総選挙	2	全国の小学生から「1番好きな本」を投票してもらい、その結果を発表するというイベント。2017年からスタートし、過去4回でのべ70万以上の小学生が参加している。結果発表イベントは、上位に入賞した著者を、実際に投票したこどもたちが表彰するというもので、毎回主要メディア等でも報道される。結果は全国の書店でも大きく発表されている。	10,037,000	10,037,000	—
	特定非営利活動法人こどもの本総選挙事務局					
2025-3029	第78回中部日本高等学校演劇大会	2	高校生の演劇活動の支援と普及のため1948年に始まった高校生の演劇大会。中部6県（愛知、三重、岐阜、福井、富山、石川）で行われる各県大会の上位校を対象としており、本大会で最優秀賞を受賞した高校は全国大会に出場することが出来る。大会最終日には、演劇における多様な表現方法を学ぶための研修会も行われる。	2,500,000	2,500,000	—
	株式会社中日新聞社					
2025-3030	第38回中部日本個人・重奏コンテスト本大会	2	中学生・高校生・大学一般が参加する個人・重奏のみを対象とした大会である。中部9県（愛知、三重、岐阜、静岡、長野、滋賀、福井、富山、石川）で行われる各県大会の上位者を対象としている。個人は1名での演奏、重奏は2名から10名での演奏と少人数での演奏が特徴的なコンクールである。	2,500,000	2,500,000	—
	株式会社中日新聞社					
2025-3031	第18回書道パフォーマンス甲子園（全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会）	2	高校書道部による書道パフォーマンスの日本一を決定する大会。書道パフォーマンスは、1チーム12人以内の選手が、音楽に合わせて縦4m×横6mの紙に制限時間6分間の中でダンスなどの趣向を凝らしたパフォーマンスと共に、自分達の伝えたい思いを詩に込め、様々な書体を使って作品を作り、書や演技の美しさなどを競い合う。優勝校には文部科学大臣賞を授与する。	10,000,000	10,000,000	—
	書道パフォーマンス甲子園実行委員会					
2025-3032	日本文藝家協会創立百周年記念事業「『文藝年鑑』デジタル版の公開」	1、2	『文藝年鑑』の編纂は大正12年版から現在94冊目の編纂作業が進められている。通読すれば近代文学史の大意がわかり、同時代の視点で毎年定点観測が積み重ねられてきた点では唯一無二の史料である。デジタル版の公開で百年の歴史から容易に必要な情報だけを抜き出すことができ、文芸の歴史上新しい発見が期待される。現在海外での日本文化・文学に対する関心が非常に高く海外の研究者や関心をもつ者からもアクセスが可能となる。	47,700,000	26,043,000	21,657,000
	公益社団法人日本文藝家協会					

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3033	第35回兵庫県学生ピアノコンクール	2	本事業は1991年から続く県内最大のピアノコンクールで、ピアノ愛好者には「県コン」の愛称で親しまれている。これまでに延べ30,000人以上の学生が出演し、音楽に携わる人材育成の場としても定着している。プロのピアニストも多数輩出しており、コンクール出身者が現在、審査員を務めるなど、音楽を次世代へ伝える循環も生まれている。	1,650,000	1,650,000	—
	株式会社神戸新聞社					
2025-3034	子どもの読書活動推進事業	2	本事業では、読み聞かせなどを通じて子どもの読書活動推進に取り組んでいる大人や、読み聞かせ活動に興味をもつ初心者の方を対象に、朗読セミナーを開講し、子どもと読書の接点で活躍する人々の育成や拡大を目指します。また、子どもたちやその保護者を対象に、本の楽しさを伝えるイベントを開催し、子どもたちの読書習慣の育成を目指します。	6,715,000	6,715,000	—
	公益財団法人文字・活字文化推進機構					
2025-3035	新聞活用教育事業「読む力、考える力 + 伝える力」	2	著作物である新聞を活用したワークシート発信や新聞感想文コンクール、地域を紹介する新聞制作コンクールを開く。新聞制作コンクールの最優秀受賞者には、作品で伝えられた地域の特色を表現する制作物創作の特典が設けられる。著作物の利活用や創作活動により、青少年健全育成や、活字文化と著作権に対する理解を深めることができる。	2,500,000	2,500,000	—
	福島民友新聞株式会社					
2025-3039	第75回全国小・中学校作文コンクール	2	川端康成氏らを審査委員に迎え、戦後間もない1951年に発足した伝統ある作文コンクール。国内外の小・中学校に在学する児童・生徒を対象に、自由なテーマで作文を募集し、毎年約6000点の応募がある。小学校低学年、高学年、中学校の3部門。部門ごとの最優秀受賞者には文部科学大臣賞が授与される。各部門の最優秀作品の要約は、新聞紙面、公式サイト等のデジタル媒体で公開し、優秀作品を掲載した作品集も制作する。	8,000,000	8,000,000	—
	株式会社読売新聞東京本社					
2025-3041	日本音楽を紹介する番組コンテンツ制作事業	2	本事業は、東京国際ミュージック・マーケット (TIMM) 参加アーティストのインタビューや楽曲紹介、及び日本音楽の最新ニュース等の内容で構成する番組コンテンツである。音声はInterFMで放送しPodcast形式でも配信。映像はYouTube等で公開し、英語字幕対応で海外ファンも視聴可能である。また、番組の内容はWEBでも記事展開し、音声・映像・活字を通じて多くの方々に日本音楽の魅力を幅広く届ける。	20,000,000	20,000,000	—
	一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団					
2025-3042	2025年度全国選抜小学生プログラミング大会 (47都道府県大会および全国大会)	1、2	小学生向けのプログラミング大会の実施運営。47都道府県で地方大会を実施し、各大会で優秀な成績を収めた者を各都道府県の代表者として全国大会へ推薦する。全国大会は3月に東京都内でリアル開催し、各都道府県代表がプレゼンテーションで競い合う。大会前日には出場者向けにプログラミング関連のイベントも実施する。	32,920,000	32,920,000	—
	株式会社共同通信社					
2025-3044	第40回長野県ピアノコンクール	2	1986年に第1回を開催し、県内の小中高生を対象とした県内最大規模のピアノコンクールである。作曲家やピアニストラ県外音楽大学の教授らを中心とした審査員委員会により審査を行い、審査会後の講評は参加者や保護者のみならず、県内リスナーからも好評を博し、音楽教育の普及、発展に寄与してきた。40年の歴史の中では、国内外で活躍するピアニストも多数輩出してきており、県内ピアノ学習者の大きな目標となっている。	1,338,000	1,338,000	—
	信濃毎日新聞株式会社					
2025-3045	Japanese Film Data Base (日本映画データベース/J F D B)	1、2	Japanese Film Data Base (日本映画データベース/J F D B)は、2002年から運営を開始した日本映画データベースである。2011年より公益財団法人ユニジャパンと独立行政法人国際交流基金が共同運営を開始し、現在旧作から最新作まで約7000本の日本映画の公式情報を日本語・英語で掲載している。	2,420,000	2,420,000	—
	公益財団法人ユニジャパン					

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3046	本との新しい出会い、はじまる。BOOK MEETS NEXT2025	1、2	「BOOK MEETS NEXT」は年間を通して、全国の書店・図書館・大学・企業等が連携し、新たな読者の育成を目指す。特に「秋の読書推進月間」では本の街「神田神保町」を中心に、最大全国10都市と連携して各地域の作家を取り上げるなど地域の特性を生かした全国規模のブックイベントを展開する。また、東京版權説明会も同時に行い世界中から100社以上の来場により、日本の版權の国際的な進出の支援も行う。	43,491,000	43,491,000	—
	一般財団法人出版文化産業振興財団					
2025-3047	動画で学ぶ、はじめての読みきかせ	1、2	読みきかせボランティアの世代交代やスキルアップが必要とされる現在。読みきかせに興味のある子育て世代の主婦や学生、読み手に少ない男性などにその基礎が学べる動画を教材に提供。動画閲覧後、さらにスキルを磨きたい方のため、全国2会場程度で実践経験が出来る講習会を自治体などと連携して開催、成果を実際の自治体の活動に活かせるようにする。	1,013,000	1,013,000	—
	一般財団法人出版文化産業振興財団					
2025-3048	新しい子どもの歌プロジェクト	2	当会の活動の中心である「新しい子どもの歌プロジェクト」は、作詞コンクール・コンサート・楽譜出版・作詞作曲コンテスト・歌唱コンテスト・YouTubeコンテンツからなる事業であり、幼児・児童・生徒を対象とした「子どもらしい歌・子どもが喜んで歌える歌」の創作・普及ならびに、子どもたちが「新しい子どもの歌」に触れて言葉と音楽の素晴らしさや面白さを学ぶ機会を提供することを目的としている。	531,000	531,000	—
	一般社団法人全日本児童音楽協会					
2025-3049	高等教育DXアワード	1、2	本事業は、高等教育革新のために大学教員らが創業した出版社である碩学舎が、高等教育分野における電子書籍活用と普及をテーマとした初の全国規模の教育DXアワードである。教育現場での優れた電子書籍活用事例を顕彰することを通じて、教育DXの普及・発展に寄与するとともに、知的財産権や著作権への理解を深めることを目的とする。ファイナリストの発表はオンライン配信され、最優秀賞受賞者には賞状と副賞が授与される。	1,140,000	1,140,000	—
	株式会社碩学舎					
2025-3050	西日本新聞社杯プログラミングアドベンチャー	2	全国的にも珍しい小学生向けの競技プログラミング大会を実施運営します。独自改修したプログラミングソフトScratchを用い、制限時間内に多くの問題を解くことで、プログラミング技術の向上、論理的思考力や課題解決能力の育成を目指します。特設サイトでは練習問題も提供し、子どもたちが楽しみながらプログラミング学習を進められるよう支援します。	3,565,000	3,565,000	—
	株式会社西日本新聞社					
2025-3053	第19回琉球大学びぶりお文学賞	2	本文学賞は2007年に創設され、沖縄県内の大学に在籍する大学生及び大学院生を対象とした賞である。文学の啓蒙活動を高め、地域社会における文学・文化活動のリーダーを輩出することを目的としている。小説部門、詩部門の2部門があり、審査員は県内大学の文学系教員や山之口摸賞受賞詩人によって構成される。各部門の正賞・佳作の受賞者には賞状および副賞が授与される他、例年受賞作品をまとめた作品集を刊行している。	760,000	760,000	—
	国立大学法人琉球大学					
2025-3054	コンテンツメーカーと協働した著作権の普及啓発事業	1	中学生高校生を対象とした著作権普及啓発イベントを開催する。ゲーム会社の制作スタジオを見学し、ゲームソフトの制作がどのように行われているか体験する機会を提供する。ゲームソフト等のコンテンツが著作権で守られていることを伝え、あわせて著作権に関する知識を提供する。中高生にとって関心の高いゲームソフトを通して、創作への敬意や意欲、ならびに著作権に対する理解を促進することを目的とする。	1,716,000	1,716,000	—
	一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会					
2025-3055	第30回NIE全国大会神戸大会	1、2	NIEは、新聞を教材として活用することで社会への関心を高め、生きる力を育む取り組み。全国の小中高校生が新聞に親しむことで、民主主義の良き担い手となることを目指している。本事業は、NIE活動を推進・普及するため年1回開催しており、教育界を中心に多くの参加者が集う。神戸大会では、記念講演やパネル討議、公開授業や実践発表などを通してNIEの取り組みを広げるとともに、著作権について学ぶ機会も設ける。	2,500,000	2,500,000	—
	一般社団法人日本新聞協会					

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3056	第34回国際高校生選抜書展（書の甲子園）	1、2	「書の甲子園」として親しまれる高校生の書の公募展。書道に取り組み高校生が最高目標にする公募展の一つで、臨書と創作の2部門から成る。国内出品者の作品は地区審査を通過すると全国審査に進み、「個人」「団体（学校）」それぞれで日本一を目指す。各地区の優勝校は翌年のセンバツ高校野球出場チームのプラカードを揮毫できる。海外出品者は別途審査し賞を決める。33回展から全国審査のインターネットライブ中継を始めた。	5,000,000	5,000,000	—
	一般財団法人毎日書道会					
2025-3057	クラシックの魅力発信による音楽文化振興事業	1、2	青森県出身でベルリン在住の沖澤のどかさんが23年度より常任指揮者を務める京都市交響楽団を本県に初めて招聘。青森・八戸の両市公演に地元ジュニアオーケストラの児童らを招待し、プロの演奏に触れる機会を創出することで、次世代育成につながる音楽環境の向上を目指す。また、曲の創作年代、作曲家の生涯を紹介するイベントを開催、クラシックの著作権に関する啓発もを行い、一連の事業内容を新聞で紹介することで広く発信する。	9,980,000	9,980,000	—
	一般財団法人東奥日報文化財団					
2025-3059	無償・高品質な著作権教育教材の維持・改訂・公開の促進と学校教育現場への著作権教育支援	1	本事業では本協議会で開発した著作権教育教材について、改正頻度の高い著作権法に則して教材を点検し、質を担保した公開を継続する。また、学校教育現場への出前講習会を実施し著作権理解の促進を図る。具体的には、①法改正等に対応した教材の調整と公開を行う。②既開発教材を用いた出前講習会を継続し、教育現場での著作権理解の促進と課題の把握、助言を行う。③英訳資料の追加により留学生への配慮を進める。	859,000	859,000	—
	一般社団法人大学ICT推進協議会					
2025-3060	第13回全国高等学校ダンス部選手権 DANCE CLUB CHAMPIONSHIP vol.13	2	高校ダンス部の全国大会。2013年の第1回大会から始まり、2025年で13年目となる。ダンス技術のみではなく、「漢字2文字のテーマをいかにダンスで表現するか?」という審査基準で、技術力・表現力・独創性を総合的に審査する。	20,190,000	20,190,000	—
	エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社					
2025-3062	第4回 読書検定 神奈川新聞社杯 事業	2	読書検定神奈川新聞社杯は、読書の楽しさ大切さを再認識し、日本人の読書離れを食い止め、「活字を読むことによって社会・経済を活性化させる」ことを目的として開催される。本を読んで一番感動した「ワンセンテンス」とその一文を選んだ理由をサイト上にアップし、審査員や参加者間の互選によって賞が決まる。既存のコンクールなどよりも参加のハードルが低く、より一層活字文化に親しんでもらえるような大会を目指す。	1,500,000	1,500,000	—
	株式会社神奈川新聞社					
2025-3064	催事・展覧会「白と黒の伝統 書と囲碁の世界 The Legend of Black & White」	1、2	筆と墨で漢字やかなを記す創作表現で、日本で独自の発展を遂げた書。国内で20年ぶりの大規模万博「大阪・関西万博」の場で、日本を代表する一流書家らの豊かな「現代の書」作品約500点を一堂に展覧、高校生パフォーマンス、市民向け創作ワークショップなどでその魅力を世界にアピールする。併せて同じくアジア発祥で数千年の歴史を持つ伝統芸能「囲碁」の魅力も発信する。	6,000,000	6,000,000	—
	株式会社毎日新聞社					
2025-3066	シェアシネマ2025	2	本事業は子どもの体験格差解消を目的として行う体験支援事業である。当団体が実施した家庭ニーズ調査で「長期休み中の支援」を求める声に併せて「映画鑑賞」に関する希望の声が多く見受けられたことから、2024年夏に劇場で映画鑑賞を行う体験支援のプレ実施を行った。プレ実施では予定していた招待枠の約5倍の応募が集まり、本支援を必要とする声が寄せられた。この実績をもとに、新規事業として本格展開を目指している。	8,372,000	8,372,000	—
	特定非営利活動法人チャリティーサンタ					
2025-3067	ブックサンタ2025	2	生活困窮などにより体験格差を抱える子どもに愛された記憶を残すため、新品の本とともに「特別な体験」を届ける。また、寄付者に対しては贈る本を自ら選べるという「楽しい寄付体験」を設計した。2017年～実施し、昨年度は1,868書店と連携、3ヶ月間で130,843万冊の寄付が集まった。寄付本は当団体と全国約330の子ども支援団体を通じて対象の子どもたちに届け、本を通じた子どもの支援と著作物の振興を行う。	11,688,000	11,688,000	—
	特定非営利活動法人チャリティーサンタ					

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3070	音楽アウトリーチ事業	2	NHK交響楽団メンバーによる音楽アウトリーチ事業。日本最高峰のオーケストラであるN響のメンバーが各地の学校で邦人作品をメインとした演奏を披露する。同時に楽器演奏体験やマスタークラス、オーケストラ演奏指導なども行い若い世代に上質な音楽体験を提供し、技術向上を促す。	4,305,000	4,305,000	-
	株式会社MAE					
2025-3071	第70回こども県展（令和7年度千葉県児童生徒美術展覧会）	2	本事業は、1956年に始まり、令和7年度で第70回を迎える千葉県内の小中学生を対象にした県内最大規模の絵画公募展「第こども県展」。特別賞・特選・準特選・入選・佳作から構成され、小・中学校約600校（作品約6万点）が参加している。次代を担う子どもたちの豊かな心と個性や創造性を育むことを目的として開催している。	4,200,000	4,200,000	-
	株式会社千葉日報社					
2025-3073	書店イベントポータルサイト「ブックイベントナビ」の機能拡大	2	日常的に読書をしていない層あるいは読書になじみが薄い層が増えている状況において、本の魅力を伝え、少しでも書店に足を運ぶ人を増やしていくため、日本全国の読書イベントの情報を集めたポータルサイト「ブックイベントナビ」を2023年12月から運用している。今回、機能を拡張し、出版社および書店、さらには図書館からの情報提供を効率的に行えるようにし、イベント情報の登録件数および利用者の拡大を目指す。	28,150,000	28,150,000	-
	一般社団法人日本書籍出版協会					
2025-3075	Fukuoka Film Producers Lab 2025	1、2	地方から持続可能な映画制作環境を構築することを目指し、映画制作を志すクリエイターやプロデューサーに向けて、普段学ぶ機会の少ない著作権との関わり方や資金調達などの基本的な知識を提供するシンポジウムと、国際共同製作を実現するための併走型で実践的な支援事業を二つの柱として進めていき、映画産業の振興と普及に貢献する。	2,112,000	2,112,000	-
	クリエイティブ福岡推進協議会					
2025-3077	企業内でのメディア記事の活用に関する著作権意識の啓蒙と利用促進事業（著作権セミナー：メディア記事の戦略的活用～著作権を味方につけるために）	1	企業における情報共有は以前にも増して重要度が高まっているが、メディア記事の社内共有に関しては著作権等の処理や利用料金などの考え方についての知識不足や誤解例も多い。本事業では企業がメディア記事等を社内で幅広く活用するための基本となる著作権の考え方について、専門家を起用した著作権セミナーを開催することで知識の啓蒙と著作物の適正利用の促進を進めるものとする。	434,000	434,000	-
	株式会社共同通信デジタル					
2025-3079	デジタル脚本アーカイブズ「平成版」構築およびモデル授業の試行	1、2	本事業は、通常入手することが難しい「脚本」を全文無償で閲覧できる「デジタル脚本アーカイブズ」を構築しWeb公開している。昨年度までは昭和期のドラマに限定していたが、新規に平成期のドラマやアニメ、バラエティ番組の台本を順次公開すると共に、脚本を使ったモデル授業などを試行し活用法を紹介する。さらに現在活躍中の脚本家、放送作家、制作者、声優等へのオーラルヒストリーを実施し、サイト内で公開する。	26,812,000	13,855,000	12,957,000
	一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム					
2025-3080	著作権コンテンツの強化を主目的とするWebサイトの改修事業	1	童画美術における唯一の団体として、現WEBサイトを、所属会員のみならず、広く童画家、及び著作物の利用者（読みきかせ等）を対象とする公益性の高いサイトに再構築し、「著作権擁護」と「著作物の円滑な利用」両面において利便性の高いコンテンツを提供出来る様にする。再構築においては、スピードと使い勝手の向上も重視し、権利者、著作物利用者双方への貢献を目指す。	2,596,000	2,596,000	-
	一般社団法人日本児童出版美術家連盟					
2025-3081	第55回 京都新聞「お話を絵にする」コンクール	1、2	主に京都・滋賀の幼稚・保育・こども園児、小学生を対象に指定の選定図書（お話）を読んで受けた印象・感想を絵で表現する（絵にする）コンクール。児童らの自由な発想と柔軟な感性を育み、豊かに表現する力をつけてもらうことを目的としている。長年親しまれてきたコンクールで、特に京都市内の小学校では授業カリキュラムに組み込まれるなど地域の教育現場に浸透した取り組みとなっている。	1,600,000	1,600,000	-
	株式会社京都新聞ホールディングス					

2025年度共通目的事業 助成決定事業一覧

2025年4月30日

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

管理No.	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2025年度分 助成額 (円)	2026年度分 助成額 (円)
2025-3083	日韓中テレビ制作者フォーラム2025	1、2	日本のコンテンツ制作向上のために、北東アジアのコンテンツを牽引する日本、韓国、中国の三か国のクリエイターが一堂に会し、情報交換や協業などのビジネス交流を行う事業。 2025年は日本がホスト国として開催、製作会社、メディア、クリエイターを目指す学生などが集まり、アジアコンテンツの未来についてディスカッションをします。	10,600,000	10,600,000	—
	一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟					
2025-3085	映文連 国際短編映像祭 映文連アワード2025	2	「映文連アワード」は、短編映像を対象とした、2025年度で19回目を迎える映像フェスティバル。文化映像、ドキュメンタリー等を対象とした部門、企業映像やプロモーション等を対象とした部門、自主制作作品を対象とした部門と、他と比しても非常に間口の広い映像コンテストである。これまでの累計応募数3000数百作品、文部科学大臣賞と経済産業大臣賞も設けた、映像コンテンツの製作と発展を後押しする活動となっている。	3,104,000	3,104,000	—
	公益社団法人映像文化製作者連盟					
2025-3086	2025年度「オーサー・ビジット」による著作権啓発、及び著作物の創作普及	1、2	本事業は、2003年から開催されており、延べ100校近くの学校に出張授業をしてきた。子供たちが直接「著作物の作り手である作家」から執筆の経緯や体験談、創作の苦労や喜びについて話を聞き、質問できる機会を提供する。これにより子供たちの創作に対する理解や意欲が深まり、著作権尊重につながる。授業の様子は、朝日新聞朝刊や、本の情報WEBサイト「好書好日」にも掲載し、一般の方にも広く著作権の尊重を啓蒙する。	4,522,000	4,522,000	—
	株式会社朝日新聞社					
2025-3087	Tokyo Docs 2025	2	Tokyo Docsは毎年秋に開催するドキュメンタリーの海外展開を支援する国際イベント。メインは、日本とアジアのドキュメンタリー制作者が自らの企画を国内外の放送局や動画配信会社、配給会社に提案する「ピッチング・セッション」である。ピッチング後に行われる商談とあわせ、製作資金の確保をはじめ、海外での放送、配信、上映、販売のサポートを得るきっかけを提供している。	16,700,000	16,700,000	—
	特定非営利活動法人Tokyo Docs					
2025-3088	知的財産教育活動普及・定着事業	1	本事業では、大学関係者、企業関係者、弁護士、弁理士、公務員（行政、公設試等）、学生、小中高教員等、誰でも参加可能なオンラインセミナーを継続的に開催するとともに、講師を招聘し、対面形式によるセミナー等も開催する。併せて、教育機関等への本学教員の派遣、有識者による知財教育高度化のための勉強会等、著作権及び著作隣接権をはじめとする知的財産教育の普及・定着活動を行う。	2,735,000	2,735,000	—
	国立大学法人山口大学					
2025-3089	第22回東京国際ミュージック・マーケット (Tokyo International Music Market) ライブコンサート事業	2	東京国際ミュージック・マーケット (以下、TIMM) ショーケースライブは、日本音楽の海外進出を目的に国内外の音楽業界関係者が一堂に会する国際マーケットイベント「TIMM」の主要プログラムで、毎年秋に3日間、都内のコンサート会場で一般客も入場可能なライブコンサートを実施している。また、当ライブの様子は収録し、グローバル配信プラットフォームを通じて全世界でもオンライン視聴が可能となっている。	16,000,000	16,000,000	—
	一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団					
2025-3090	『キッズシナリオ』プロジェクト～小学校・中学校向け出前授業～	1、2	1970年の創立以来「日本中の人にシナリオを書いてもらいたい」という企業理念をもとに、脚本家や小説家を700名以上輩出してきたシナリオ・センターでは、創設者新井一の「シナリオの基礎技術」をもとにした表現技術を、子どもたちにも伝えるべく2010年から出前授業し、のべ6000名以上に実施。創作の振興と発展に加え、創り手側になることで、著作権についての理解も深めることを目的にしている。	2,040,000	2,040,000	—
	株式会社シナリオ・センター					
助成決定件数		63 件	合計	496,037,000	449,247,000	46,790,000

2025年度助成事業 助成総額 496,037,000 円 (内 2025年度分 449,247,000 円、2026年度分 46,790,000 円)